

クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



iNUKE NU12000DSP

Ultra-Lightweight, High-Density 12000-Watt Power Amplifier with DSP Control and USB Interface

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのも

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

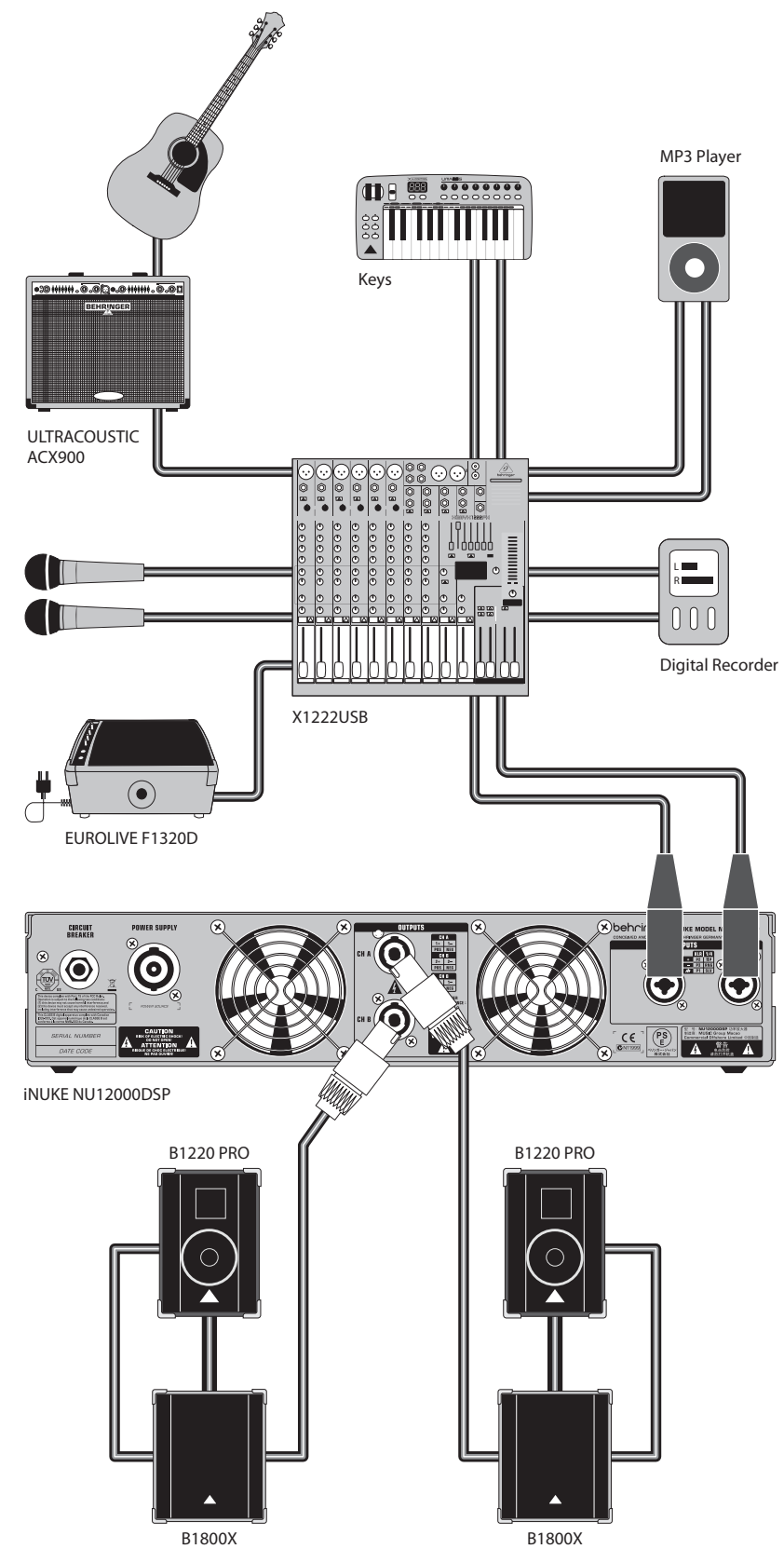
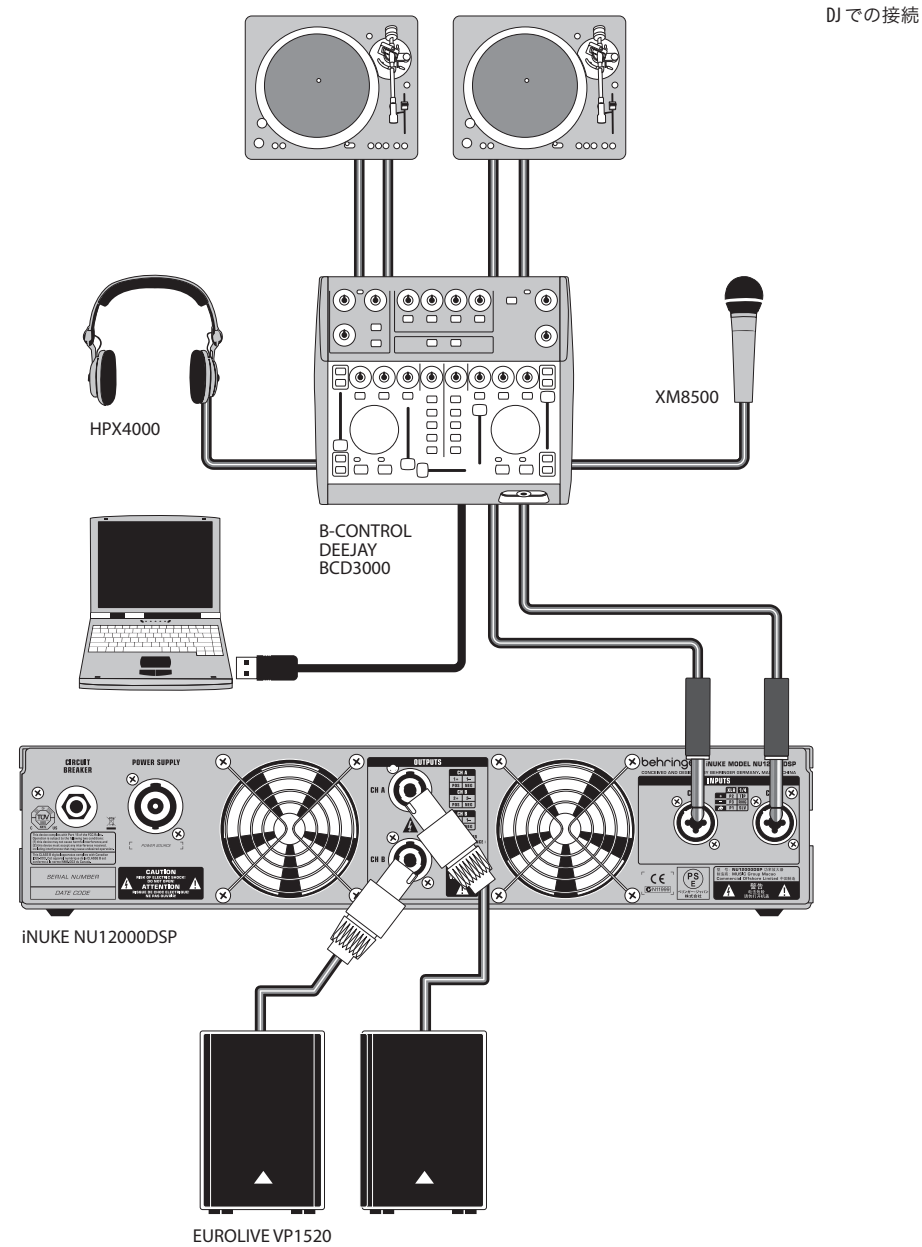
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

iNUKE NU12000DSP フックアップ

ステップ 1: フックアップ



iNUKE NU12000DSP コントロール

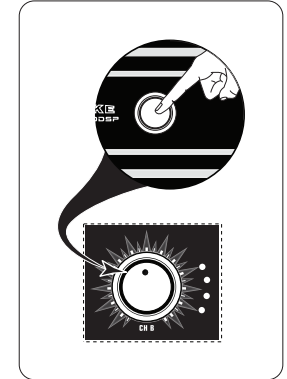
ステップ 2: コントロール

SIGNAL および **LIMIT LED** は、それぞれのチャンネルの信号レベルを表示します。もし赤の **LIMIT LED** が頻繁に点灯するときは入力 **CH A/CH B** コントロールを下げてください。

PROCESS ボタンで DSP プロセッシング モジュールを操作します。

LCD SCREEN は現在の DSP モジュールとパラメーター設定を表示します。

POWER ボタン / LED このボタンでアンプリファイヤーの電源をオン / オフします。



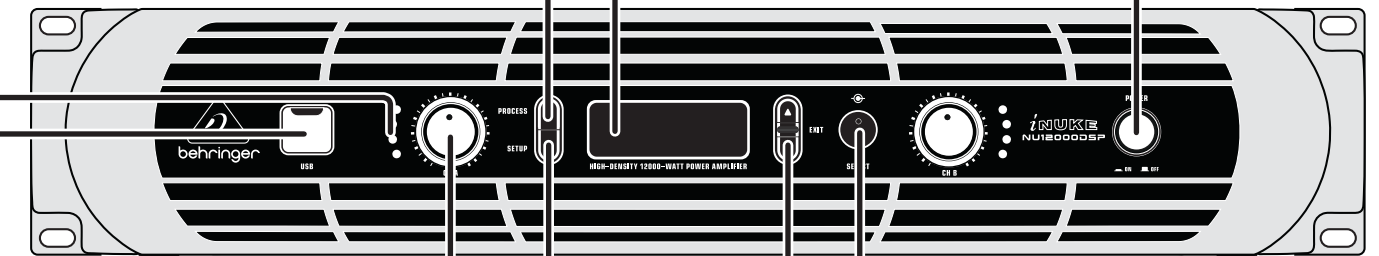
USB 接続でファームウェア・アップデートとコンピューターからのパラメーター・コントロールが可能です。Behringer.com では DSP コントロールソフトウェアのダウンロードができます。

これらのノブを使って入力レベルを調節します。ゲインを上げるには時計方向に、ゲインを下げるにはノブを反時計方向に回します。

SETUP ボタンで DSP プロセッシング モジュールのパラメーターを操作します。

UP/DOWN/EXIT ボタンで DSP モジュールとパラメーター、またはトップ階層の iNUKE 画面 (中央のボタン) を切り替えます。

SELECT エンコーダー・ノブでグラフィックとエディット・モードの切り替え (押す) およびパラメーター値を変更 (回す) します。



iNUKE NU12000DSP コントロール

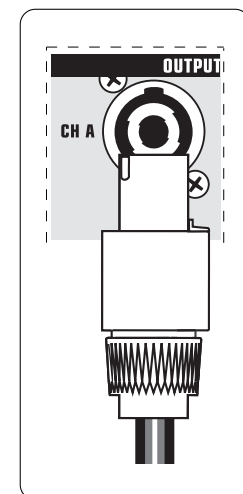
ステップ 2: コントロール

ブレーカーの注意事項: もしブレーカーが作動した場合、ブレーカーをリセットする前に以下の作業を行ってください。

- ・ AC メインケーブルを抜いてください。
- ・ POWER ボタンを “OFF” にしてください。
- ・ すべての入力ゲインコントロールを下げてください。
- ・ ブレーカーをリセットして本体に電源を接続します。そして電源ボタンを ON にして、ゲインを任意のボリュームまでゆっくりと上げてください

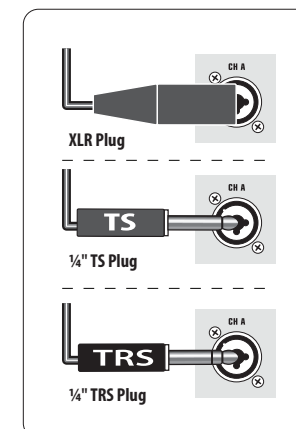
BREAKER

(自動安全装置)。問題が発生してブレーカーが自動遮断したら、まず問題を取り除き、その後このボタンを押してアンプを再び作動させることができます。従来のヒューズの代わりを果たすものです。



一出力一回転ロック・プラグ付きのプロフェッショナル用スピーカーケーブルを使って、アンプリファイヤーをスピーカーに接続します

XLR コネクタ、6.3 mm ステレオコネクタ (バランス)、6.3 mm モノラルコネクタ (アンバランス) を使用して、ラインレベルの入力信号をこれらのコンビネーションジャックにルーティングします。

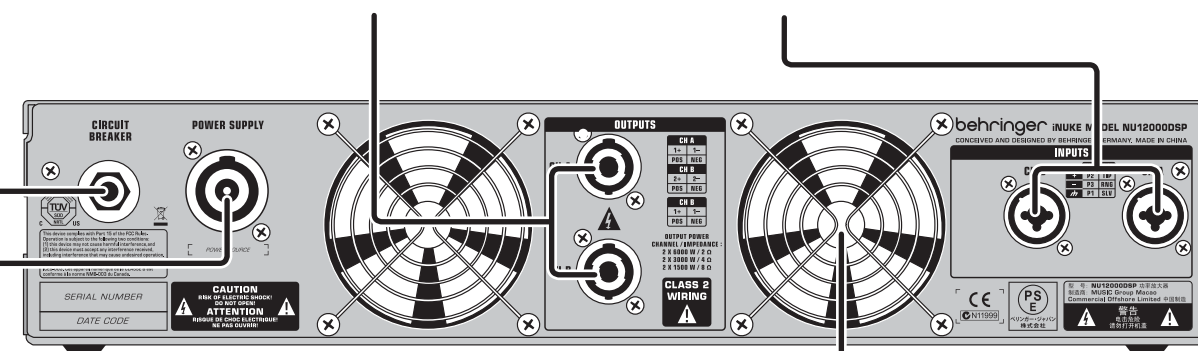


注意: iNUKE アンプには Neutrik powerCON 32 A コネクターおよびアセンブリ説明書が同梱されています。ただし電源ケーブルは付属いたしません。

POWER SUPPLY

(パワー・サプライ) ジャックには、Neutrik powerCON 32 A コネクターのツイストロック式電源ケーブルを使用してください。

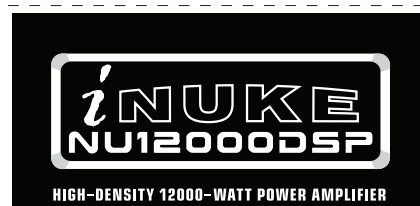
通気用ファン ファンのスピードは自動的に調節され、トラブルのない動作を約束します。



iNUKE NU12000DSP はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1** POWER ボタンを押してアンプの電源を入れます。LCD ディスプレイにスタートアップ画面が表示されます。



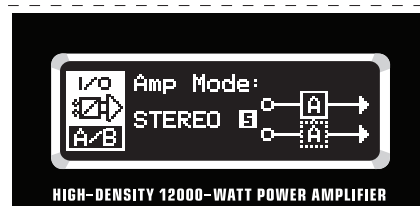
- 2** PROCESS ボタンを押すと、DSP 画面が表示されます。

- 3** 各画面で SELECT エンコーダー・ノブを押し、グラフィック・モードとエディット・モードを切り替えます。

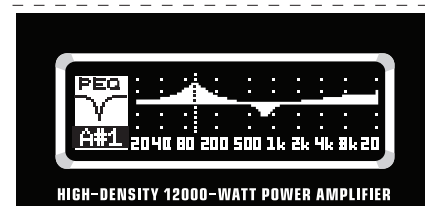
- 4** グラフィックモードでは、SELECT エンコーダー・ノブでアクティブなチャンネルとモジュール・ナンバーを選択します (例: DEQ フィルター A#1 または A#2)

- 5** エディット・モードでは、SELECT エンコーダー・ノブでパラメーターの変更をします。UP/DOWN/EXIT ボタンを押して値とチャンネルを操作します。

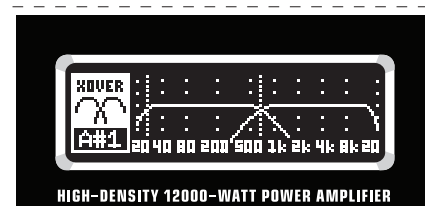
- 6** I/O 画面 (アンプ・モード) では以下の信号パスを選択します: BRIDGE、DUAL (デュアル・モノ)、STEREO、BIAMP 1 または BIAMP 2



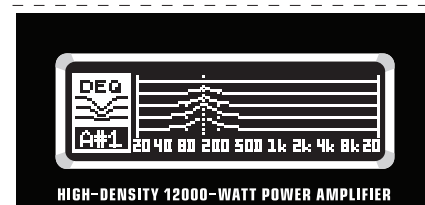
- 7** PEQ 画面では、最大 8 つのパラメトリック・イコライザー・フィルターを使用して音を処理します。



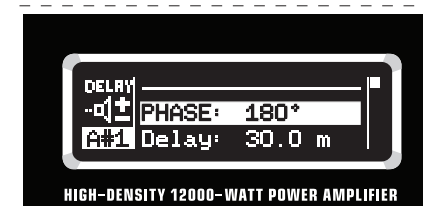
- 8** XOVER 画面では、最大 2 個までのカットオフ周波数クロスオーバー・ポイントを、また各アウトプットには最大 10 個までの異なるフィルターカーブを選択できます



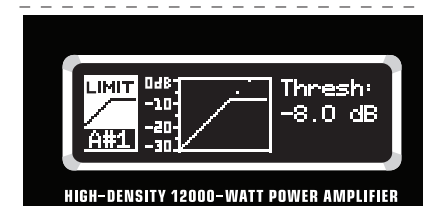
- 9** DEQ スクリーンでは、ダイナミック EQ モジュール (各ステレオチャンネル最大 2 つ) を使用して、信号の指定した周波数レンジをモニターします。特定の周波数レンジをブーストまたはカットするために、レイシオ (Ratio)、アタック (Atime)、リリース (Rtime) パラメーターに基づいて、ダイナミック EQ をプログラムすることもできます (バンドパス、ハイパス、ローパス)。



- 10** DELAY 画面では、システムの位相相殺の問題を調整します。特定のチャンネルの位相 (PHASE: 0 または 180)、および / または信号の出力の遅延 (Delay: 0-300 msec) を行うことで、距離にしたがい変化する音 (例: ステージから観客席へ向けた PA スピーカーから出力される音との位相調整) にマッチさせます。



- 11** LIMIT 画面では、内蔵リミッターのスレッシュホールド (Threshold)、リリース (Rtime)、ホールド (Hold) などを設定を行います



- 12** SETUP ボタンを押すと、プリセットのロード、パネルのロック、パスワード設定、LCD コントラストの調整ができます。



- 13** トップ階層の iNUKE 画面に戻るには、EXIT ボタンを押します。

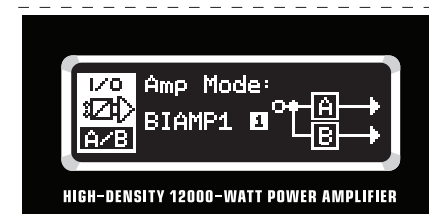
注: iNUKE DSP は直近の変更を 2 分後に自動的に保存します。また、EXIT ボタンを押しメインスクリーンに戻ってきた場合にも自動的に保存がされます。これらの保存された内容は次回本体の電源投入後に利用可能になります。

iNUKE NU12000DSP Bi-amping

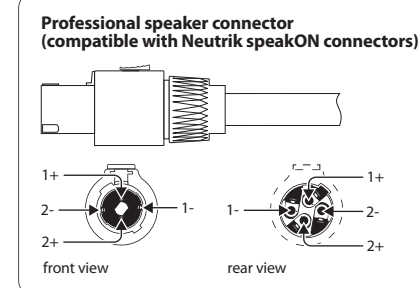
ステップ 4: Bi-amping

バイアンピングではモノラルの信号を上下の周波数帯に分割し、それぞれの周波数帯を別々のスピーカー・キャビネットに割当てます。サブウーファーは通常低周波数域を受け持ちます。信号をこのような方法で分割することで、スピーカーはより効率的に働き、全体としてよりクリーンなサウンドを得ることができます。

- 1 アンプ・モード画面で BI-AMP 1 設定を選択します。



- 2 回転ロック式コネクタ付きの 4 芯のスピーカーケーブルを OUTPUT 1 からサブウーファーに接続します。(サブウーファーは 2+ と 2- の芯から低周波数域の信号を受け取ります。一方、中高域の周波数帯は Channel A の 1+ と 1- の芯を使います)。



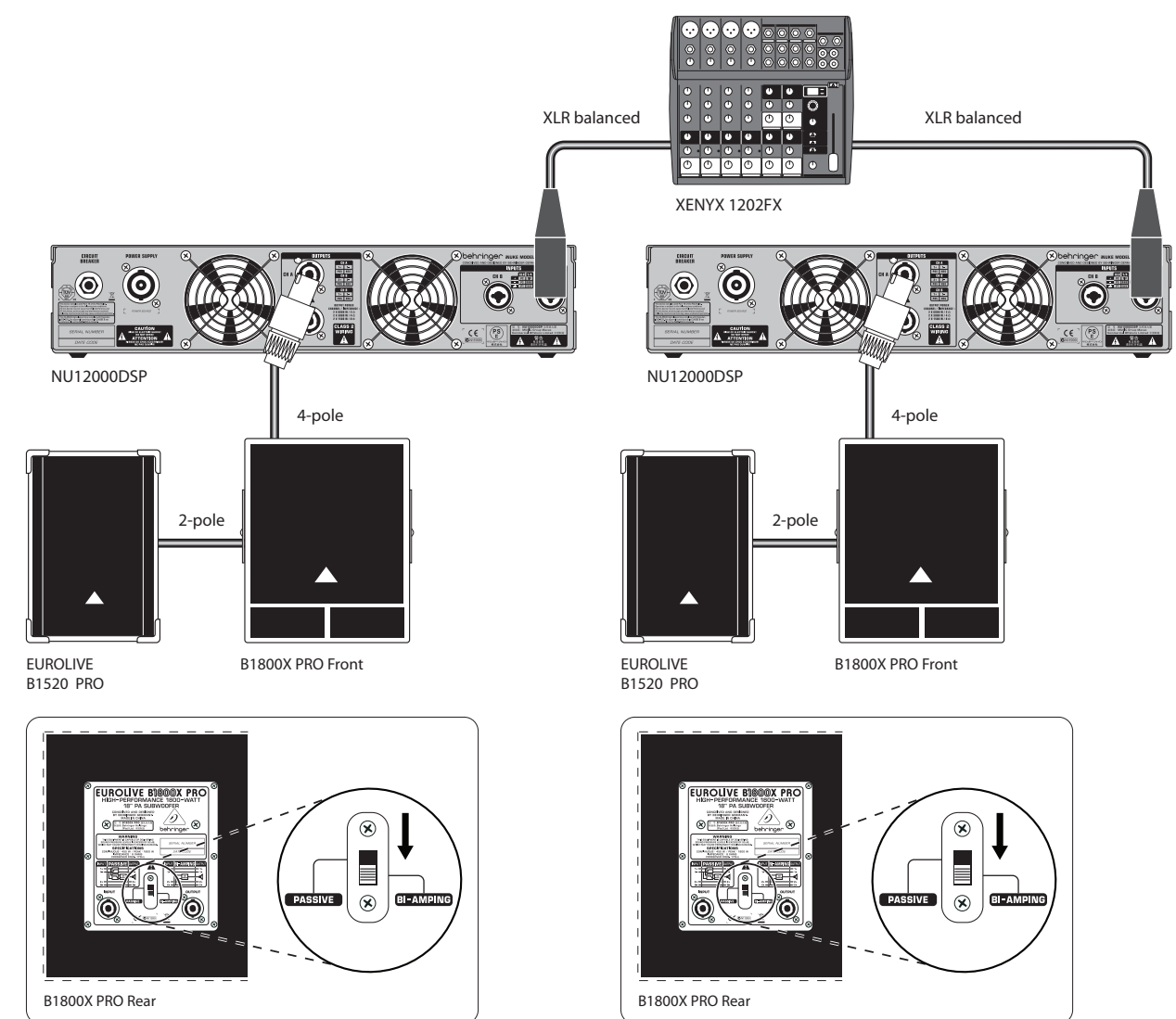
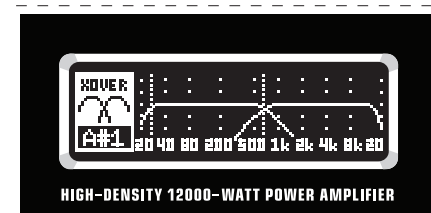
- 3 サブウーファーを“バイアンピング”のモードに設定します。

- 4 回転ロック式コネクタ付きの 2 芯のスピーカーケーブルを、サブウーファーから別のスピーカーに接続します。

- 5 UP/DOWN ボタンを使用して XOVER 画面に行き、適切な high/low クロスオーバー周波数を設定してください。

- 6 チャンネル A#1 の High パスフィルター・タイプ (HPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (HPfreq) をおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの Low パスフィルター (LPtype: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。

- 7 チャンネル B#1 の Low パスフィルター・タイプ (LPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (LPfreq) をおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの High パスフィルター (HP type: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。



技術仕様

出力パワー	
最大出力	
ステレオ	
2Ωチャンネル毎, ステレオ	2 x 6000 W
4Ωチャンネル毎, ステレオ	2 x 3400 W
8Ωチャンネル毎, ステレオ	2 x 1700 W
システム	
コントロール	
フロント	電源スイッチ Gain 調整 (チャンネルs A and B) DSP セクション 回転プッシュ エンコーダー Process、Setup、Up/Down、Exit 各ボタン
リア	プレーカー
インジケーター	
Power (パワー)	バックライト付ゲインコントロール
Limit (リミット (チャンネルごと))	0 dB, フルスケール
Signal (シグナル (チャンネルごと))	-24, -12, -6 dB
デジタル信号プロセッシング (DSP)	
ディスプレイ	LCD 128 x 32、 アンバー バックライト
デジタル ディレイ機能 (各チャンネル)	0 - 300 ms
デジタル クロスオーバー機能	3 フィルタータイプ、最大 48dB / オクターブ
デジタル EQ機能 (各チャンネル)	8 バンド パラメトリック、2 バンド ダイナミック イコライザー
デジタル ダイナミクス機能 (各チャンネル)	ゼロアタック リミッター (ピーク)
プリセット	合計 20 プリセット、19 はユーザー設定可能
入力感度	
V RMS @ 8Ω	0.75 V (-0.3 dBu)
コネクター	
入力	2 x XLR / 6.3 mm ステレオコンボジャック
入力 インピーダンス	10 kΩ アンバランス, 20 kΩ バランス
出力	2 x プロフェッショナル・スピーカーコネクター
出力回路の種類	クラス D
歪率	<0.2 %
周波数特性	20 Hz to 20 kHz, +0 / -2 dB
ダンピングファクター	>100 @ 8Ω
信号ノイズ比	>100 dB
USB	DSP セクション リモートコントロール用フロントパネル USB コネクター タイプ B

回路の保護	
冷却	継続可変スピードファン背面から前面への空冷
アンプの保護	熱と DC 保護リアクティブまたは不均衡なロードでの安定
ロード保護	オン/オフ時のミュート, DC 異常時の電源シャットダウン
電源供給, 電圧 (プレーカー)	
アメリカ合衆国 / カナダ	120 V ~, 50/60, (50 A 250 VAC)
日本	100 V ~, 50/60, (50 A 250 VAC)
英国 / オーストラリア / ヨーロッパ / 韓国 / 中国	220-240 V~, 50/60 Hz, (25 A 250 VAC)
消費電力 @ 2Ω, 1/8 出力時	1300 W
消費電力 @ 4Ω, 1/8 出力時	760 W
主電源コネクター	Neutrik powerCON 32 A
寸法 / 重量	
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 94 x 482 x 436 mm (3,7 x 19 x 17,2")
重量	約 12 kg (26,5 lbs)

*最大出力は AWG10 ケーブルおよびプラグが使われている電源コードと 100 から 115 V までの商用電力が供給される場所のみで得られます。また、単相三線式では200から 240 Vまでの AC 電源電圧で動作します。

*電気法規に則り、認定者のみが AC 電源コードを改造することができます。

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You